

No. 199
2020. 7

ねば

広報

私たちの村

人口と世帯 令和2年6月30日現在

総人口	885人
男	426人
女	459人
世帯数	410世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場

〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村2131-1

TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>

メールアドレス info@nebamura.jp

印刷 龍共印刷株式会社



6月23日～6月24日の3日間、
徳島県上勝町に木材からできる布の
商品開発、販売の視察に行きました。

・詳細は8ページ

7月号の主な内容

- 議会定例会 2～4ページ
- 人権擁護委員 他 5ページ
- 福祉医療給付事業 6ページ
- 国民健康保険税 他 7ページ
- 上勝町視察 他 8ページ
- ユネスコスクール 他 9ページ
- 地域おこし協力隊 10ページ

議会だより

6月定例会

令和2年度一般会計予算等一五議案について審議

6月11日・17日の2日間にわたり6月定例会が開催されました。内容については、次のとおりです。

一般質問

◆原光史議員

質問 空き家の現状と今後の対応について

①平成26年12月の一般質問を踏まえ村内空き家の数、所有者の考えを調査頂いたが、その後の状況は変わっていないか。

②平成30年4月17日にシルバー人材センターと協定を結んだ、空き家等の適正な管理の指針に関する協定の成果はどうだったか。

③空き家対策特別措置法に該当するとみられる空き家は当村にあるか。又、その法を活用し空き家を減らす様にしていくのか。

回答

①平成28年に村内の空き家の状況調査を実施し、当時で107軒、内85軒が村外所有者の空き家。アンケートはその85軒に対して行い、58軒から回答があった。その中で何ら

かの条件はあるが貸しても良いという意向があったのが19件。当時の調査ではそのような結果であった。その後3年ほど経過した現在、村で把握している段階では、取り壊していた住宅が既に10軒。借家等で再活用された家屋が8軒。平成28年調査で107軒であった空き家が、89軒となつている。実際には新たに空き家となった家屋もあるのかと思うが、おおむねそんな状況だと把握している。定期的に所有者に調査を出したということはないが、空き家の所有者から家を取り壊したいと問い合わせがあった際、業者さんを紹介したりといった例は若干あった。今後空き家対策を進める中では、定期的な調査もする中で空き家の計画を作っていく必要があるのかと考えている。

②村が空き家の所有者から管理に関する相談を受けた場合に見回りや敷地内の掃除等の管理をシルバー人材センターに紹介して、シルバー人材センターが請け負うといった内容の協定を30年の4月に結んだ。その後特に空き家の所有者さんから管理に対する村への紹介、依頼、相談等がなかったためこの協定が活用されたという事例は、今のところ無いと思われる。今もそうだが、今後もそういった紹介、依頼があればシルバーを紹介する。シルバーがそういったサービスを行っているというようなPRをする必要もあるのかと思つているので検討をしていく。

③村ではまだ空き家等の対策計画を策定していないので特定空き家に該当するものがあるかないかという判断はできない状況であるが、そういったものに該当するものはあるだろうと判断している。今後村としても、できるだけ早い時期に空き家対策については、村づくり、特に景観づくりの観点から重要であると考えているので空き家等の対策計画を策定する必要があると思つている。またあわせて、所有者の方々に定期的な連絡を取りながら、できるだけ使わない場合は早く撤去していただくのか、使える場合は上手に使っていただくような空き家の利活用についても、村としてご支援できる、そういった体制ができると良いな

と思つている。地域と一体となつて空き家対策を考える取り組みが必要であると理解している。

◆下井敦志議員

質問

新型コロナウイルス

感染拡大を受けた今後の村づくりについて

①当村の受けた影響の現状と今後予測される影響について。

学校での取り組みについて、他の自治体では夏休みを短縮する取組みもあるようだが、当村ではどのような状況か。

②この災害において、オンライン会議、在宅でのテレワーク、教育機関でのオンライン授業などインターネット環境の重要性が再認識された。交流人口拡大を考えるとオンラインの交流という事も考えられるが、光通信のサービス開始に伴い、整備を加速、利用をさらに拡大させることは考えていないか。

③人を集めることに重点を置いた村づくりによりすぎるとウイルスや感染症などの脅威に耐えられない村になることが懸念される。今後当村のようべき方針は、観光を含めどのようなものが考えられるか。

④これを機に地方への関心が高まり、移住希望者が増えるという予測もある。多くの移住希望者が現れた時の対応はどのようなものが考えられるか。

⑤当村には病院があるが、今後の事を念頭に置いて、コロナウイルス影響下の医療体制の充実についてはどう考えるか。

⑥今回の給付金は国、村独自のものも迅速かつ的確に給付され、評価に値する。他の自治体では更なる各分野への給付を行うところもある。今後、当村独自の新たな補助、給付金などの施策は考えていないか。

⑦このほかに、「新しい生活様式」を考えたらうで、今後の村施策としてはどのようなものが考えられるか。

回答

①村への影響はさまざまあり、一つ目の学校関係ですが学校では3月3日から3月18日まで第一弾の休校、その時は放課後子供教室で子供たちの受け入れを実施した。卒業式、義務教育学校の開校式、入校式についても規模を大幅に縮小して実施した。4月10日から23日までの休校。その後適宜休校を延長する中で最

最終的には5月20日から通常の登校ができるようになった。その休校の間、先生による家庭訪問や学校プリントの配布、村のケーブルテレビによる授業を2回程、そして9年生を対象にオンライン授業も実施した。また、つい先日の教育総合会議でも学校長から報告があり、根羽では7月の23日から夏休みの予定でしたが8月1日からと短縮する中で、実際休校になったのは18日間程でしたが、その間臨時的に学校に出てきたり、実際に休んだところはこの夏休みの中で取り返すことができる。7月一杯で遅れは取り戻すので心配はないという学校長から報告をいただいている。

2つ目として村内商店への影響も非常に大きなものがあった。特に4月16日に全国に緊急事態宣言が発令されて県外からの入り込みの自粛等によって飲食店やサービス業の休業や営業時間の短縮が村内でも多く行われた。当面は5月の連休明けが目安となっていたが、なかなか解除することが難しく、5月の23日頃に営業を再開したところが多かったと理解している。また村内でも食品製造関係の業者があるが、卸し先のホテルや

道の駅が休業したため一カ月以上の製造休止という事態を受けている事業所もある。また自動車関連の下請工場もあるが、今まさに影響の中にある。またゴルフ場でも客数が大幅に減少し、またこの時期各種イベント等、村内へ来る体験や村外へ出て行く交流事業、物産や体験がある時期だったが、全て中止となった。非常に地域経済への打撃は大きなものがあった。また福祉関係では介護施設、福祉施設は面会禁止、あるいは今までのようなサービスが一部少しかまざるをえない状況もでてきている。社協でも様々な事業の延期、中止というような形がなされた。また村関連でも公共施設の使用制限、福祉の植樹祭等、様々な交流イベント等も中止となった。従来のような人の流れに戻るには時間がかかると思われるが、商店や事業所の売り上げがこのことによって非常に減少した。徐々には復活したと感じているが、まだまだ経済への影響は大きなものがあるだろうと考える。また従来実施していた体験事業、宿泊事業、イベント等についてほとんど中止となっているので、

従来のような活動ができなくなっているのが現状。村としても、まずは当面の支援はさせてもらうが、今後は新しい取り組みへの支援という方向も考えていく必要があるのかと思う。具体的には、ものはまだないが、村内でも厳しい状況が続いているので、しっかりとその状況を見据える中で対応を考えたい。

②現在村内ではNTTが光ケーブルの設置を進めており、すでに今年度村内の一部で、また来年度には村内全域で光ケーブルの利用が可能となる予定。今回のコロナウイルスの関係で、村内でも様々な取り組みが行われた。役場では対外的業務でのオンライン会議の実施。義務教育学校では9年生を対象にオンライン授業を2回実施し、非常に成果があったと聞いている。また森林組合では東京に在住の講師によるWEBでの講演会を実施した。私も参加したが、非常に効率的で新しい体制でできると実感した。このようなことを実際の3月、4月、5月で取り組んでいる。また光通信サービスの利用拡大の件では今後重要な機能を担うものと理解しており、様々なところで様々なものを導入し

ていきたいと考えている。まず一つとしては今年度国のギガスクール構想の中でネットワークの整備と教員、生徒全員のタブレットの整備、自宅でオンライン授業が可能となるモバイルルーター等の設備を導入する等、ICT教育の推進を前倒しで進めていきたいと考えている。また今年度村内の主要箇所へフリーWi-Fiを設置したいと考えている。また役場でも外部と会議や打ち合わせのできる機器の台数を増やすなどといった整備を進めていきたいと思っている。今回のコロナウイルスで多くの人が一同に集まるのが難しい状況となり、その対応として、またこれからの新しい時代の対応としてオンラインサービスが非常に重要であると考えておりますのでしっかりと勉強する中で導入を図っていきたい。

③今回のコロナウイルスにより、森林、農地のある農山村でのライフスタイルが見直されている。今まで都市部中心だったライフスタイルが、森林、農地を使った新しいライフスタイルに間違いなく変わっていく大きなきっかけになると思う。これからの村づくりの方向性としては、グ

ローバルな社会の中にあつて、小さな地域の中だけで経済をまわしていく生活というのは、基本的に成り立たない。まずは地域の中で最低限自給できる仕組み、地域内循環を維持しながら、地域に合う様々な資源を活用して外貨を稼ぎながら経済を成り立たせていくという大前提が必要不可欠であると考えている。根羽村では森林空間利用による様々な取り組みが非常に重要になると考えている。そうした分野で村の人が生業、職業としてそこに係ってもらい、稼いでいける仕組みづくりが急務であり、力を入れていきたいと考える。そして今後も根羽村に興味を持ってもらい、積極的に村と係ってもらえる人、そして多くの人と人の関係を作りながら村づくりをしつかりとしていく必要があると考える。

④コロナウイルスの関係で大企業では在宅ワークへ切り替えるということが実際に行われており、これからの働き方は大きく変わってくると考えている。平日は都市で働きながら週末は田舎で暮らすという二地域居住のライフスタイル、今までも提唱はされていたが中々具現化は難しかった

が、この二地域居住というスタイルは間違いなく増えてくると考える。また6月1日付けで村の情報を発信するなどの業務を行ってもらうために新たに地域おこし協力隊として一名の若者を採用した。彼は元々根羽村に興味を持っていたことに合わせて、新しいライフスタイルを求めて移住したかったということも根羽を志望した大きな要因であると聞いている。村ではこうした移住者をこれからも積極的に受け入れていきたいと考えている。仕事については本人が希望すれば村にある仕事場を斡旋し、また主に移住したい方は何かやりたいことを持っている場合が非常に多いと感じている。村としては、そういった人達に住む場所の紹介、地域との繋がりをしっかりと支援をしていく。そんな部分でサポートさせていた、だくというのも今後の取組みと想っている。空き家等の活用も非常に有効に思っている。様々な面で村では全員で支援をしていく、そんな取組みをしていきたいと考えている。

と連絡をとりながら対応をいただいている。また、患者さんについてはインフルエンザの時と同様に事前に病院に電話をして先生の指示を仰ぐようになってきている。また先月末に飯田市にPCR検査専用の地域外来検査センターが開設された。ここで検査するには地域の医療機関からの依頼によるものの完全予約制となっているので、今後そうした対応がある場合は村もできる限りの連絡をとりながら進めたいと考えている。村内に開業医の先生がいるというところは、地域にはなくてはならない存在。村では今までも検査機器等について支援をさせていただいており、今後も必要部分、必要な面でしっかりと支援をさせていただき、開業医の先生と連携をとりながら地域医療の存続をしっかりと図っていききたいと考えている。

方向にもって行ったら良いのか、新たな事業展開、そういったものの方向性に含める中での支援というのが非常に重要になってくると思うので、そういった部分の取組みについてこれから皆さんとしっかりと協議する中で積極的な新たな支援というのも視野に入れていきたいと考える。

⑦今、新しい生活様式という方向に国全体が動いており、新しい生活様式の一つとして一人一人の基本的な感染対策をするということ。二つ目としては日常生活を営む上での基本的な生活、手洗い、三密を回避すること。それから日常生活の各場面での生活様式を少し変えるとか、働き方の新しいスタイルを考える。そのような新しい生活様式に取り組んでいく形となっている。村としてもまずは感染予防が非常に重要になってくる。それぞれ個人ができることをしっかりと習慣づけてもらうよう引き続きPRをしていきたい。具体的には大勢の場面でのマスクの着用、手洗いの徹底、三密の回避、これについては機会あるごとにしっかりと呼びかけをしていきたい。それから何よりも重要なのは一日も早く日常の生

活を取り戻して頂くと同時に、当たり前の事として感染予防への取組みをしていく、そんな必要があるのかと考える。また新しい働き方、特にテレワーク等を取り入れた柔軟な働き方も今後は導入されてくると思う。テレワークで在宅勤務、サテライトオフィスは今後具体的なものになると考えており、そういった部分の取組みも考えていきたい。そして根羽村のこれから

条 例

◆根羽村手数料徴収条例の一部を改正する条例の専決処分承認

国の関係法令の改正に伴い、村の条例についても一部改正を行う専決処分について承認されました。

◆根羽村税条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律等の改正に伴い条例の制定及び改正がされました。

◆根羽村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律等の改正に伴い条例の制定及び改正がされました。

◆根羽村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律等の改正に伴い条例の制定及び改正がされました。

◆根羽村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律等の改正に伴い条例の制定及び改正がされました。

◆根羽村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律等の改正に伴い条例の制定及び改正がされました。

◆根羽村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運

報告事項

◆令和元年度根羽村一般会計繰越明許費繰越計算書

営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律等の改正に伴い条例の制定及び改正がされました。

◆村営黒地地区土地改良事業の施行について

土地改良事業の施行について採決されました。

補正予算

◆令和2年度根羽村一般会計補正予算(第二号)

補助事業の不採択によるチップ工場建設関係費減額等により、216万6千円を減額し、総額19億3921万5千円余となりました。

◆令和2年度根羽村国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

新型コロナウイルス対策傷病手当金により、30万円を追加し、総額1億140万円余となりました。

◆令和2年度根羽村簡易水道特別会計補正予算(第一号)

ポンプ室維持補修工事費等により、170万2千円を追加し、総額5千8百50万2千円余となりました。

◆令和2年度根羽村介護保険特別会計補正予算(第一号)

介護保険法改正による保険料軽減により、2万円を減額

し、総額2億2千6百38万円余となりました。

人事

◆固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、片桐好和さん、石原久明さんの再任が承認されました。

◆農業委員会の委員の任命
農業委員会委員の任命について同意されました。

請願・陳情

◆核兵器禁止条例への日本政府の署名・調印と推進を求める意見書の提出に関する陳情書
―継続審査―

人権擁護委員

石原美穂子さん再任



今年7月1日より上町の石原美穂子さんが人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員は法務大臣より委嘱され、国民の基本的人権である生命、自由及び幸福追求などの権利が侵害されることのないよう監視し、人権事件があった場合にその救済のために相談や調査な

どを行います。

人権問題でお悩みの方は特設相談所開設の際相談できます。また、長野地方事務局飯田支局でも毎週火曜日と金曜日に相談所を開いていますのでご利用ください。尚、任期は3年間です。

新型コロナウイルス感染症予防対策のための寄贈を受けました

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、6月22日、飯田信用金庫駒場支店長福元様から除菌スプレー20本の寄贈を受けました。

寄贈いただいたスプレーは、根羽学園、保育所、ねばねの郷なごみ、佐藤医院で使わせて頂きます。

また、セイコーエプソン様から児童・生徒に活用していただくために、県にフェイスシールドの寄贈があり、根羽学園にも40個配布いただきました。寄贈していただいたフェイスシールドは有効に活用させていただきます。誠にありがとうございます。うござい



やまあいフェスティバル・盆踊り大会について

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言が解除になりましたが、その後再び感染拡大の兆候がでており、予断を許さない状況にあります。

こうした状況を踏まえ、村、公民館、商工会では今年の根羽やまあいフェスティバル、盆踊り大会、花火大会の実施について検討しましたが、いずれも村内外を含めて多くの方がお見えになり、密の状態となること予想されるため、次のとおり決定しました。

盆踊り大会 中止

花火大会 中止

やまあいフェスティバル

10月10日(土)

一日のみの開催

やまあいフェスティバルについては、午前は根羽学園との合同運動会、午後は根羽学園・文化協会の発表を中心に計画しています。楽しみにしていた皆様には誠に申し訳ありませんが、何卒ご理解をお願いします。

防災訓練実施のお知らせ

日頃より防災行政に対し御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、村では8月30日(日)に防災訓練の実施を計画しております。訓練内容等は協議中ですので、詳細は別途通知いたします。

大切な訓練ですので、参加の御協力を願います。



サマージャンボ 2つのジャンボ ラッキージャンボ 1億1千万円

1等5億円、前後賞各1億円

この夏だけの取組金は、根羽村の皆さんに還元されます。

7月14日(火) 同時発売 各1枚300円

PCやスマホからもインターネット購入できます!

根羽村福祉医療費給付事業について

村では、子育て支援や福祉増進を目的に、高等学校卒業までの子どもと、一定以上の障がい者の方、母子等及び父子家庭の方を対象として、医療費の負担を軽減するために福祉医療費給付事業を行っています。

支給対象者

根羽村に住所があり下記のいずれかに該当する方。(住所が村外であっても高校生等であり扶養の事実があれば対象。)

●現物給付対象者●

乳幼児 等	・ 出生から 18 歳のうち扶養されている方 (18 歳誕生日後 3/31 まで) ・ 所得制限なし
-------	---

※ 窓口負担は 0 円。但し、柔整は窓口負担があるため、必ず受給者証を提示してください。

●自動給付対象者●

障がいのある方 (次のいずれかに該当する方) ・ 所得制限有り	・ 身体障害者手帳 3 級以上の方 ・ 療育手帳の障害の程度が B1 以上に該当する方 ・ 障害者年金をもらっている方 ・ 精神障害者保健福祉手帳 1 級・2 級の方 (精神の方は 1 級・2 級ともそれぞれ給付の制限あり)	
母子家庭の母等	・ 一定の要件を満たす方	※要件等は役場住民課まで お問い合わせください
父子家庭の父・一定の要件を満たす方	・ 一定の要件を満たす方	

※ 窓口で自己負担分をお支払いいただいた約 2 ヶ月後、300 円、高額療養費等を控除してからご指定口座に振り込みます。
○福祉医療費の支給には資金貸付制度があります。条件等がありますので、詳しいことを知りたい方は役場までお問い合わせください。

給付方法等について

(1) 県内で受診の際、保険証と一緒に医療機関及び薬局へ受給者証を提示してください。

※受給者証を忘れた時は、医療機関等に申し出てみてください。

長野県内・上矢作病院の医療費に関するレセプト情報が村に自動的に送られてきますので、その情報を基にご指定口座に振り込みます。

(注) お子さんの学校での怪我については、総額 1,500 円以上の支払いになるときは災害給付金の対応になりますので、窓口で福祉医療受給者証を提示しないでください。
災害給付金の申請は、学校養護教諭まで申し出てください。

(2) 県外でかかった医療費は、領収書を役場住民課へ提出して下さい。

(レシートは無効) ※請求期限は診療翌月から 1 年以内

通常の支払処理は 2 ヶ月遅れとなります。(基本的に診療月の翌々月に、県内(自動給付のみ)及び提出のあった県外の領収書により、ご指定の口座に振り込みます)

※福祉医療で給付された医療費は他の控除対象費にはなりません。

喪失について

(1) 支給対象者の要件に該当しなくなったとき(当該要件に該当しなくなった日の属する月の翌月の初日)。

(2) 死亡又は転出したとき(当該事実の発生した日の翌日)。

転出後は、転入した市町村のことを、医療機関の受付時に必ず申し出てください。

(3) 他法等で療養の給付等を受けるとき(当該事実の発生した日)。

※資格喪失した場合は、受給者証を役場へ返還してください。 ご不明な点は、役場住民課にお問い合わせください。

国民健康保険税のお知らせ

令和2年6月2日に開催された「国民健康保険運営協議会」にて今年度の国民健康保険税について協議された結果、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、国民健康保険被保険者の皆様の経済的負担を考慮し、令和2年度の国保税率は前年と同率とすることが答申されました。

村長は答申を尊重し据え置くことを決定しました。

今年度の国保税率等は表のとおりです。

軽減と減免

○所得の少ない世帯への軽減

所得が一定基準以下の世帯は、「均等割」と「平等割」について軽減措置があります。

世帯主（国保の納税義務者）と世帯の国保加入者の合計所得金額で判断します。

要申請！！

○新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した方への減免

感染症の影響で世帯の主たる生計維持者の事業収入、給与収入等の減少（前年比3割以上の減少）が見込まれる世帯の場合等に、国保税の減免を受けることができます。※詳しくは、住民課国保係へお問い合わせください。

国民健康保険証の更新について

保険証と高齢受給者証の一体化により、昨年度の保険証から更新期限が7月末日となり皆様には更新の際にお知らせして、ご理解を賜りました。

今年度の保険証の更新は8月1日となっておりますので、国民健康保険加入者の方で保険証の更新をしていない方は、お早めに役場住民課で交換してください。

なお、国民健康保険の加入義務者は世帯主とされています。世帯主の方におかれましては、保険に加入していない世帯員がいないかご確認くださいませようお願い申し上げます。

ご不明な点等ありましたら、役場住民課へお問い合わせください。

国民健康保険税率表

内 訳	所得割	資産割	均等割	平等割
医療費分	2.70%	12.00%	13,000 円	12,000 円
後期高齢者支援金分	1.00%	9.50%	5,500 円	5,000 円
介護納付金分	1.00%	9.00%	7,000 円	5,000 円

7割軽減	世帯の総所得 ≤ 3 3 万円
5割軽減	世帯の総所得 ≤ 2 8. 5 万円 × 加入者数 + 3 3 万円
2割軽減	世帯の総所得 ≤ 5 2 万円 × 加入者数 + 3 3 万円

国民年金に関するお知らせ

☆年金相談・お手続きの際は『予約相談』をご利用ください！

飯田年金事務所では、『予約相談』をお勧めしております。

現在、相談者の90%以上の方に予約相談をご利用いただいております。ご予約いただくことで、待ち時間なくご相談いただけます。また、持ち物についてもご確認いただけます。

ご予約は希望日の一ヶ月前から受け付けております。基礎年金番号の分かるもの(年金手帳・年金証書等)をご準備のうえ、ご予約ください。

★予約受付時間 月～金（平日） 8時半～17時15分

0570-05-4890（予約受付専用ダイヤル） 0265-22-3641（飯田年金事務所）

☆新型コロナウイルス感染症の影響により、国民年金保険料の納付が困難な方は、国民年金保険料の免除申請が可能です！

今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、収入源となる業務の喪失や売り上げの減少などが生じて所得が相当程度まで下がった場合は、臨時特例措置として本人の所得見込額を用いた簡易な手続きにより、国民年金保険料免除申請が可能となりました。

対象となる方 以下のいずれにも該当する方

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少
- ② 所得が相当程度まで下がった場合 令和2年2月以降の所得の状況から見て、当年中の所得見込額（※1）が国民年金保険料免除基準相当（※2）（※3）になることが見込まれる方

（※1）令和2年2月以降の任意の月（収入が最も低い月）における所得額を12ヶ月分に換算し、見込の経費等を算出

（※2）当年中の所得見込額が全額・一部免除基準相当に該当する場合にそれぞれの基準に該当する免除が適用

（※3）免除等の判定においては、世帯主及び配偶者（納付猶予は配偶者のみ）も審査の対象

免除承認の所得基準

全額免除	(扶養親族等の数 + 1) × 35 万円 + 22 万円 例：単身世帯 57 万円 夫婦世帯 92 万円
4 分の 3 免除	78 万円 + 扶養親族等控除額 + 社会保険料控除額等
半額免除	118 万円 + 扶養親族等控除額 + 社会保険料控除額等
4 分の 1 免除	158 万円 + 扶養親族等控除額 + 社会保険料控除額等

申請の対象となる期間 両年度分申請する場合は所得の申立書は一枚で申請可能

・令和元年度分 R 2. 2 月分～6 月分 ・令和2年度分 R 2. 7 月分～R 3. 6 月分

申請に必要なもの

- ・国民年金保険料免除・納付猶予申請書 ※「⑫特例認定区分」欄「3. その他」に○、「臨時特例」と記入
- ・所得の申立書（簡易な所得見込額の申立書（臨時特例用））

申請方法

申請書、申立書は日本年金機構ホームページからダウンロードできます。根羽村役場にも様式がありますので、お問い合わせください。提出先は根羽村役場、又は飯田年金事務所です。

年金事務所に申請する場合は新型コロナウイルス感染拡大防止のため郵送でお願いいたします。

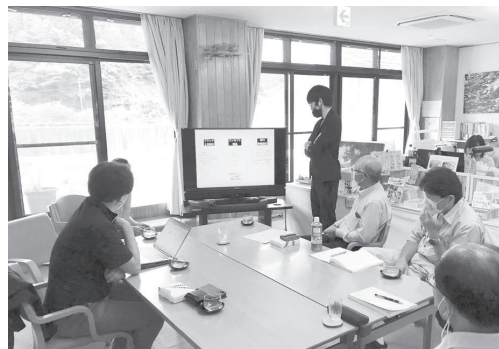
（〒395-8655 飯田市宮の前 4381-3）

森林資源から生まれる「木のタオル？」 ～根羽村が上勝町と連携して行う新たな取組～

徳島県上勝町に6月23日



6月25日、根羽村長含む役場職員、および根羽村森林組合の職員で森林資源を活用した新しい事業創造にむけての視察を行いました。上勝町への視察は昨年の11月に続く2回目となります。今回の目的は上勝町の株式会社いろいろが事業展開する木のファブリックブランド「KINOF」に関しての視察、情報交換、および事業連携に向けての具体的な条件調整をおこないました。「KINOF」は杉の間伐材を用いて繊維にする技術を活用したブランドで、繊維となった木の布を縫製し、タオル・衣類・マスクなどの商品開発・販売に



取り組んでおり、環境配慮されたSDGsプロジェクトとして全国から注目されています。今回の視察では繊維化した木の布にする織技術を持つ「株式会社和紙の布」の代表取締役・阿部正登様にも同席いただき、素材に関する特徴とともに開発への想いについてお話しいただき、実際に繊維や商品に触れさせていただきました。その後、こちらの技術を用いて事業展開を行う「株式会社いろいろ」より、これまでの事業展開に関しての経験や知識を共有いただき、根羽村としてどのような形で連携が組めるか、具体的な意見

交換を行いました。根羽村及び根羽村森林組合では、経済的にも環境的にも持続的に経営が行えるような新しい林業の経営モデルを模索中で、薄利になりがちな建築材販売に頼るのみではなく、森林資源の新しい活用方法を提案できる組織となるために、より消費者が日常的に、身近に木に触れられるような商品の開発も進めています。

今回の視察を踏まえ、根羽村では「矢作川流域」での販路展開を進め、源流の森から生まれた商品の開発・販売に向けての準備を進めて行きたいと考えています。また、村内に住む人々が日常的にも木の繊維を用いた商品を利用できるように、展開を検討しています。



農業委員改選

農業委員の改選が行われ、7月20日付けで次の方々が任命されました。任期は令和2年7月20日から令和5年7月19日の3年間です。先日開催された第1回の定例総会におきまして、会長に上町の原伸一さん、職務代理に新井の石原啓充さんが選出されました。農業委員会は農地を有効に利用していくために、担い手への集積や集約化また、耕作放棄地の発生防止等をより良く果たせるようにする組織です。以前のように希少な農地を多くの農業者に分配していた時代から、現在では耕作放棄がされるようになった農地を少数の農業者で利用しているという情勢の変化の中で、今は農地利用の最適化が重視されるようになりました。農地は貴重な資源であり、適正に使うことが重要とされ、地域の代表、かつ、共益を求める立場である農業委員の皆さんには、これから規模縮小が予想される農家の農地を関係機関と連携し、農地利用の最適化の推進を積極的に進めていただきます。

選出区分	役職	氏名(敬称略)	地区	新・再任
団体推薦	会長	原 伸一	上 町	再 任
南洞地区推薦	職務代理	石原 啓充	新 井	新 任
北洞地区推薦		筒井 信行	取 手	新 任
中央地区推薦		石原 武敏	坂 町	新 任
東洞地区推薦		松下 栄樹	向黒地	新 任
西洞地区推薦		三浦 祥平	日 向	新 任
応募		小林あゆ未	上 町	新 任

魅力ある学校をめざして

根羽学園 中原 秀樹

この4月から根羽村立義務教育学校根羽学園が開校しました。開校にあたっては、保護者の皆様、地域の皆様に変なご理解とご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。現在、1～9年生が一緒になって毎日の勉強や運動に仲良く取り組んでいます。また、参観日の折などに、地域の皆様にも学校に足を運んでいただき、子どもたちの様子をご覧いただければと思います。

さて、本校では9年間を通じた学びのカリキュラムを作り、子どもたちの「自立」に向けて日々取り組んでいます。前期課程（小1～小6）では複式学級に二人の担任を配置して少人数ならではの丁寧な指導を心掛けています。また、5年生からは教科担任による専門的な指導を取り入れ、子どもたちの学力を伸ばしています。根羽の豊かな自然、人材、産業を活かした「根羽ふるさと学習」を通してふるさとに対する誇りと自信も育んでいます。開校一年目の今年、魅力ある学校になるように子どもと職員が一緒に頑張っていきます。

さらに来年度に向けて、ユネスコスクールに認定していただけるように準備を始めました。ユネスコスクールというのは、ユネスコの

理念である平和、国際協力、地域連携、環境保全等に関わる先進的な教育活動を実践する学校のことです。特にSDGs（エス・ディ・ジーズ）持続可能な開発目標）に関する活動にも大きく関わってきます。ユネスコスクールに認定されると、信州大学と連携した活動ができたり、ユネスコスクール同士の交流を行ったりすることができ、根羽学園では、今まで行ってきた河川清掃、林業体験、椎茸植菌等、環境や地域に関わる活動が十分にあり、これらをユネスコの理念に合わせて編制し直し、教育実践することで、十分ユネスコスクールとしての活動が行えると考えています。下伊那では既に昨年度から上村小、和田小、遠山中がユネスコスクールの認定に向けて取り組み始めました。このような学校との交流や大学との連携が本校の活性化につながり、魅力ある学校づくりになると考えています。

地域の皆様には、今後も根羽ならではの素材を活かした学習にご協力・ご支援をいただけると大変ありがたいです。今後ともよろしくお願ひいたします。

根羽村教育大綱の概要

教育委員会では平成28年6月に定めた「根羽村教育大綱」の改定を行ないました。この大綱は、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画で、村づくりの基本と目標を定めた「根羽村第5次総合計画」の基本目標の達成に向け、教育分野の基本目標及び重点的に取り組むべき基本施策の方向性を示したものです。

1 基本理念

「郷土に誇りと自信を持ち、未来を切り拓く深い豊かな学びの創設」根羽村に暮らす全ての住民が豊かな生涯を送るため、「一貫性と連携強化」を重点とし、乳幼児期から支援・保育・教育が途切れることなく、一貫した支援と体制の強化を図り、全ての村民が生涯にわたり豊かさを求めて学び続けるような環境の充実を目指します。

2 基本方針

(1) 学校教育の推進

■基本目標

豊かな自然、気持ちの温かい人々に恵まれたふるさと根羽村に誇りと自信を持って、ふるさとを大切にできる子ども、9年間を見通した一貫教育を活かした教育の実践をおして社会に向けて自分の力で未来を切り拓く「自立」できる子どもの育成を目指します。

■主要施策

○学校教育の推進

義務教育入学期から9年生卒業時の児童生徒の姿を意識した、9年間の一貫教育を実践することで一人ひとりの特性を伸ばし育てる教育を展開します

後期課程（中学校）では教科教室制を取り入れた新しい学びの空間の創設、前期課程（小学校）においては一部教科担任制を導入し、専門性を活用しながら知識・技能を活用する力を身に付け、確かな学力の向上に努めます。

○教育施設整備の充実

国が推進するGIGAスクール構想を活用し、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、ICT支援員等を配置し利活用の推進に努めます。

○親子留学の推進

自然豊かな環境の中で、小中一貫教育や個々の成長に応じたきめ細やかな学習指導など、スモールメリットを生かした根羽村の教育環境をアピールし、安城市からの親子留学による児童・生徒の受け入れを積極的に推進していきます。

○保育所、義務教育学校の一貫教育の推進

根羽村の自然豊かな環境を活かした「やま保育」を推進するとともに、保育所から義務教育学校の12年間の一貫した教育の推進を図ります。

○学校と地域の連携の充実

ねば杉の子サポート隊コーディネーターや地域おこし協力隊をはじめ、地域の人々が学校の授業や行事に積極的に関わられるよう取り組み、地域のより深い学びを展開し、子どもの帰郷意識の向上を図ります。

○国際教育の充実

保育所の就学前児童からの一貫した英語教育、7・8年生を対象とし

た海外研修やALT等の英語講師を活用した英語塾を展開し、国際感覚を身に付ける教育の推進を図ります。

(2) 社会教育の充実

■基本目標

社会情勢やライフスタイルの変化・意識の変化などによる住民ニーズの把握に努め、社会教育、公民館活動により多くの住民が参加できるよう事業を計画推進します。

■主要施策

○生涯学習の推進

村民一人ひとりが豊かに生きがいのある充実した生活を営み、活力に満ちた地域社会を形成するため、だれもが学べる学習環境を整備するとともに、村民の自発的な学習活動への支援を図ります。

○地元の先生の活用

村内にも様々な分野で存在する「地元の先生」による教室の開催を進めます。

○地域学の推進

日本有数の星空、豊富にある根羽スギ、中馬街道などの歴史、伝統料理などの根羽村にある豊かな教材を活用した講座を開設し、地域への理解を深めると共に郷土愛の推進を図ります。

○生涯スポーツの推進

スポーツを通じて社会参加することで、一人ひとりの豊かな生活の実現を目指すと共に健康で活力のある地域づくり、人づくりを推進するため、村民が気軽に親しみ、楽しめるスポーツの推進を図ります。

(3) 伝統文化の継承と地域文化の創造

■基本目標

長年培ってきた先人達の努力の結晶である有形・無形の歴史的文化遺産を貴重な観光資源としながら保護・継承して行きます。また、豊かな自然を生かした新たな芸術・文化の創造、発信への取り組みを進めます。

■主要施策

○文化財の継承発展

天然記念物「月瀬の大杉」をはじめ、数多くある自然・史跡文化財の保全継承に努めるとともに、「小戸名の獅子舞」、「廻り太鼓」等の伝統文化の継承に努めます。

○歴史資料の整理、保存

専門家の助言を得るなどして、貴重な資料を適切に整理、分類した上で保存を進めます。

○地域に残る伝統文化の継承

全ての世代の人々が楽しめる盆踊り大会の推進と、愛知県や岐阜県との県境域文化の色濃い伝統行事や食文化を村全体で情報を共有し保存するよう取り組みます。

○新たな文化・芸術の創造

村にある豊かな自然を生かして、新たな山村文化・芸術を創造、発信できるような取組を検討します。

地域おこし協力隊紹介

映像作家

かなべ たつや
金邊竜也



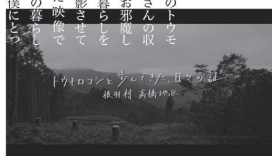
昨年の映像作品

盆踊り



昨年夏、盆踊りの
動画を撮影させてい
ただきました。「三
世が楽しめる盆踊
り」をテーマに掲げ、
若い世代を頭に新
しい風を起こし、お
祭りを盛り上げて
いく様子に、僕自身
も心躍りました。

高橋地区のトウモロコシ農家さんの収穫の時期にお邪魔して、日々の暮らしをそのまま撮影させていたいただいた映像です。農山村の暮らしを知らない僕にとって、みなさんの暮らしがとても豊かで美しく映りました。



トウモロコシと
歩んできた、
日々の証

一九九二年、東京都板橋区生まれ。フリーランスの映像作家として活動しておりましたが、この度地域おこし協力隊として根羽村に移住してまいりました。

根羽村には昨年の夏、盆踊りやトウモロコシ農家さんの撮影のため、初めて足を運びました。高橋の農家さんをはじめ、たくさんの方の村の方にお世話になり、この村の居心地の良さに魅力を感じていました。

活動内容としては、根羽村の魅力映像や写真を通して、村の内外に発信していくことが主な業務となります。ですが、僕自身もまだまだ移住して間もないので、根羽村のことを知りません。至らぬ点多々あるかと思いますが、村民の皆さんに村のことを少しずつ教えていただきながら、僕自身もこの村の魅力の中で生活していきたいと考えております。

コロナで大変な世の中ですが、変わらない日々の中にこそ根羽の魅力を感じます。村で見かけた際は、声をかけていただけると嬉しいです。よろしくお願いします。

地域おこし協力隊in根羽村

令和2年4月より農業部門で地域おこし協力隊として根羽村にお世話になっている白井です。

農業は素人ですが、農業を軸に村の活性化に貢献したいと考えており、最初の1年目は地域での暮らしを楽しみながら人との関わりを大切に活動したいと思っています。

定住と就農を目的として、根羽村に移住して早くも3か月が経過し、時間の流れの早さを身に染みて感じている今日この頃です。

現在、農業組合法人ねばねでは露地野菜のトウモロコシ栽培や獣害対策、除草等の作業、また小林農園では施設野菜のトマト栽培を研修しています。

これまで20年以上、事務の仕事に勤めてきたため、4月から



筋肉痛に悩まされながら、改めて農業に向き合うことは体力勝負であり健康でなければなら

らないと実感しており

また、体調管理も含め、月に1回のサポート会議を関係者の方々に開催していただき、スケジュール管理や意見交換などを行っていて、私の思い描く将来のビジョンを共有できる良い環境に恵まれているなど感謝の気持ちでいっぱい



です。

今後の予定として、私の地域おこし協力隊としての目標は根羽村で営農を開始することだと考えているので、まず、令和2年度中に認定新規就農者となることを目指して計画的に進めていきたいです。

最後に、私の活動にご理解とご協力くださる皆さまに心より感謝し、今後も一生懸命頑張りますので応援よろしくお願いします。